

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	全域
取組の名称	「福井のごはんを食べて強くなろう！運動」の展開
取組内容	平成30年の「福井しあわせ元気国体・大会」の開催を受け、県民のスポーツ熱が高まっています。子ども達をはじめ県民が、大会などでパフォーマンスを発揮できるよう、大切なエネルギー源となるお米など県産食材で応援し盛り上げるとともに、「スポーツ栄養」を通じて食育と地産地消をすすめます。 (1)量販店の店頭での啓発活動 量販店の食料品売り場で、福井県産のお米と具材で作ったおにぎりを配布し、スポーツのエネルギー補給のための「補食」に、おにぎりを取り入れることを呼びかけました。 (2)「スポーツをする子ども達を支える福井のお米・食材集」の発行 「スポーツ栄養」の視点でお米など県産食材の長所を紹介する冊子を教育機関や公民館などに配布し、食育活動で活用しました。 (3)スポーツ食育に関する研修会 平成28年7月15日(金)に、福井市宝永小学校で公認スポーツ栄養士や読売巨人軍選手からご飯食の大切さを学ぶ「プロ野球選手から学ぶごはんの力」を開催しました。平成28年8月12日(金)には、少年スポーツ指導者やお米の生産者等がスポーツ医学・栄養学の観点から「ごはん食」の有効性を学ぶ「ごはんの力 普及推進研修会」を開催しました。 (4)新聞での「福井マラソン応援メニュー」の掲載 福井県と福井新聞の合同企画として、平成28年10月2日の「福井マラソン」の開催に合わせ、同年9月25日～10月1日の期間、福井新聞に毎日「福井マラソン」に出場するランナーを応援する記事を掲載しました。記事では、女子栄養大学の監修により地場産食材を活用した夕食メニューを「福井マラソン応援メニュー」として掲載しました。
	 スーパーマーケット食品売り場での おにぎり配布による啓発  「ごはんの力 普及推進研修会」の開催  「スポーツをする子ども達を支える福井のお米・食材集」の発行  「福井マラソン応援メニュー」の掲載

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	全域
取組の名称	県内の全公立小中学校での100%地場産和食給食の実施
取組内容	【目的・概要】 学校給食を生きた教材として活用した和食教育の推進と学校給食での地場産食材の使用率向上を目的に、11月24日の「和食の日」に合わせ、県内の全小中学校で「100%地場産和食」を実施しました。 【実施内容】 ① ご飯、「だし」を用いた汁物、主菜、副菜をそろえた和食献立 ② 食材には福井県産食材・加工品を100%（牛乳、調味料類は除く）使用 ■関連行事・敦賀市松原小学校での「だし」と「昆布」の特別授業 （一財）和食文化国民会議理事・奥井隆氏を講師に迎え、小学6年生82名を対象にした和食を支える昆布とだしの話、かつお節と昆布との合わせだしの取り方復習と試飲、2種の昆布（利尻、羅臼）の味比べとだし比べを実施しました。 (写真上)敦賀市松原小学校で提供された「和食給食」(芋粥、鯖の竜田揚げ、ほうれん草の煮びたし、県産コーン大福) 地場産100%和食給食を食べる児童たち 奥井隆氏による「だし」と「昆布」の特別授業

食育月間以外の取組実績 (食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	福井市
取組の名称	第7回食育フェスティバル「たべまるちゃんと福井の食を楽しもう！」
取組内容	◇ 開催日 平成28年10月2日(日) ◇ 場所 アップルロード(福井市中央1丁目)※まちフェス会場内 ◇ 目的 味覚の秋に、様々な食体験を通して、地元食材の良さや食に対する関心を高めるとともに、市民の食育の実践につながることを目的とします。 ◇ 主催 福井市農林水産部農政企画室・ふくい食育市民ネットワーク ◇ 内容 食体験 味覚体験、茎ワカメ詰め放題、さつまいも食べ比べ 販売 旬の野菜、ふくいの恵み認定商品 試食 地元食材を使用したたこ焼き(仁愛大学地域貢献事業) 展示他 伝承料理(里芋赤飯)試食、茎ワカメ佃煮試食、食べきり運動啓発、石塚左玄パネル展示、食べきり運動啓発運動 食育マスコットキャラクター「ふくい たべまるちゃん」PRコーナー ふくいー押しの逸品を使用したレシピ紹介(ベジ・ガールズ) 仁愛女子短期大学学生考案レシピの紹介(ベジ・ファースト応援事業連携企画) 関連部局 福祉保健部保健センター(ベジ・ファースト運動応援事業) 生活習慣病予防や、若い世代の野菜不足の解消を目的に、ベジ・ファースト(野菜から食べる)の実践を促します。 商工労働部商工振興課(「おいしいふくい条例」推進事業) 福井の食の積極的な利用により、豊かな食生活と福井の食に関する事業の発展に寄与することを目的としています。 ◇ 来場者数 約1,500人(まちフェス全体約7,000人) ◇ HP http://www.city.fukui.lg.jp/sigoto/nourin/syokuiku/7shyokufes.html
     	

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	福井市
取組の名称	学校給食における食育推進事業
取組内容	①食育についての広報啓発(教育委員会保健給食課) 「小中学校の給食だより」において、生活のリズムや朝ごはん、共食の大切さを掲載したほか、食育に関するクイズも掲載し、食育の啓発を行っています。 また、給食の放送時間中において「食育の祖」石塚左玄の訓えのひとつである「一物全体食」について説明しています。(関連部局 農林水産部農政企画室) 【小中学校給食だより】 発行月:平成28年4月～12月 対象者:小中学校児童・生徒 その保護者 ②朝倉ゆめまるランチ事業(教育委員会保健給食課) 子ども達に福井の食文化に対する理解を深めてもらい、「ふるさと福井」を愛する心を育てることを目的として、朝倉ゆめまるランチ事業を実施しました。子ども達の喜ぶメニューに地場産物を多く取り入れたり、福井市の宣伝隊長である「朝倉ゆめまる」の好物を取り入れたりするなど、おいしく楽しい給食を実施しています。(関連部局 商工労働部おもてなし観光推進課) 実施月 :平成28年6月、2月 事業対象:市幼稚園、小中学校の幼児・児童生徒及び教職員 ③福井しあわせ元気国体おもてなし給食(教育委員会保健給食課) 福井国体開催に向けて、各県の代表的な郷土料理や人気の給食献立を取り入れることにより、子ども達がその地域の特徴や食文化などを学んで興味を持ち、県外から来られる方へのおもてなしの心が育つことを目的として、福井しあわせ元気国体おもてなし給食を実施しています。(関連部局 国体推進部) 実施月:平成28年9月～ ②【朝倉ゆめまるランチ】 ③【福井しあわせ元気国体おもてなし給食】 (北海道)  

食育月間以外の取組実績 (食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	勝山市
取組の名称	ライフステージに応じた食育推進事業「親子で体験！そば打ち教室」
取組内容	村岡公民館で、8月に「親子で体験！そば打ち教室」を行い、親子で地元の特産物である「そば打ち」を体験しました。そば打ち教室には9組の親子24名が参加し、地元の愛好会の皆さんからそば打ちを教えていただきました。そば打ちは初めての方が多く、「思っていたよりこねるときに力が必要だった。」「最初は白い粉だったものが、どんどん普段食べているそばになっていくのは不思議だった。」「流しそばは初めてで、一緒に参加していた人とみんなで食べるそばはとてもおいしかった。」などの感想が寄せられ、そば打ちをする楽しさとみんなで食べるそばの美味しさを親子で味わうことができました。   

食育月間以外の取組実績 (食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	勝山市
取組の名称	ライフステージに応じた食育推進事業「親子伝承料理」
取組内容	勝山公民館で、11月に親子伝承料理を行いました。伝承料理教室には10組の親子24名が参加し、食育ボランティアのメンバーである米粉クラブの皆さんから教えていただきました。子供たちは、いつもお手伝いをしているとあって、小学生の子は手慣れた手つきで野菜を切り、保育園児の子は、お母さんと一緒に野菜を切っていました。参加者からは、「のっぺい汁が美味しかった」「ぼたもちをいろいろアレンジして作れて楽しかった」などの感想が聞かれました。みんなで作って食べることで、干しずいきなどあまり食べたことのない伝統食材を、好き嫌いをなく美味しく食べることができました。    いもぼたもち 米粉ニョッキ入りのっぺい汁(手前) 柿サラダ 干しずいきとさつまいものソテー(奥)

食育月間以外の取組実績 (食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	勝山市
取組の名称	「親子わくわくパクパク野菜塾」
取組内容	勝山市地域おこし協力隊の牧野優さんが5回シリーズで親子で参加する「親子わくわくパクパク野菜塾」を企画し、市内外から8家族23名が参加しました。5月に野菜の植付体験、7月に畑の管理&ピクニックランチ料理体験、8月に夏野菜の収穫、夏野菜ランチ体験、9月に畑の管理&ピクニックランチ料理体験、10月に秋野菜の収穫、秋野菜ランチ体験を行いました。「親子わくわくパクパク野菜塾」を通じて、親子で野菜を「植えて」「収穫して」「調理して」「食べる」といった一体的な体験をしていただき、より一層「食」そして「農業」に対して関心を持っていただきました。  じゃがいも収穫  さつまいもの収穫  ピクニックランチづくり  イワナ捌き

食育月間以外の取組実績 (食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	勝山市
取組の名称	北谷クラブ「田舎暮らし体験ツアー」
取組内容	勝山市の山間部に位置する北谷町木根橋区にある「北谷クラブハウス」を拠点に活動している北谷クラブは、年間を通じて、「田植え、まき割り、稲刈り、報恩講料理一品体験」ツアーを企画し、農作業体験や伝統料理体験などの田舎暮らし体験を市内外の方に体験していただきました。田舎暮らし体験を通じて地域の生産者との交流が図られ、山間部の冷たい水で採れる北谷地区の美味しいコシヒカリや、勝山市ならではの伝統料理である報恩講料理を体験し、田舎暮らしの良さを体感してもらいました。 田植え まき割り 報恩講の様子

食育月間以外の取組実績 (食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	勝山市
取組の名称	平泉寺町小矢谷区「田んぼのオーナー」
取組内容	平泉寺町小矢谷地区が、農地を守り都市住民との交流を目的に「田んぼのオーナー」を募集し、今年度は県内外より5組13名の応募がありました。オーナーの皆さんには「田植え、草刈り作業、稲刈りとはさがけ、脱穀」のすべてを昔ながらの手作業による有機農法で農作業体験をしていただき、安全・安心なお米づくりを行っていただきました。何回か参加しているオーナーの方は手慣れた手つきで田植えや稲刈りを行っており、「有機農業で手作業で米を作ることが楽しい」との感想が聞かれました。「田んぼのオーナー」を通じてオーナーと小矢谷区の生産者との交流を図り、地域の活性化に繋げることができました。  田植え  稲刈り  草取り  はさがけ

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	鯖江市
取組の名称	小学校と連携した食育事業
取組内容	【お菓子の授業(低学年、2年生)】…H28拡大事業 鯖江市内の農家が育てた食材を使って、子どもたちに身近な「おやつ作り」を行うことで、旬の地元食材のおいしさに触れる機会をつくります。 期間 7/5 対象 片上小 1、2年生 30名 内容 鯖江市内の農家が生産したマルセイユメロン(さばえ夢てまり)とブルーベリーを使用し、「ヨーグルトムース」作り体験を、プロの菓子職人の指導のもと行いました。 期間 9/8、15 対象 惜陰小 2年生 66名 内容 鯖江市内の農家が生産した枝豆を使用し、「ずんだもち」作り体験を、プロの菓子職人の指導のもと行いました。 【味覚の授業(3年生)】…H24～継続事業(5年目 全校実施) 味覚が発達し始める3年生を対象に、食育推進の一環で「味覚を探ってみよう」というテーマのもと、「味」について理解を深め、今後の食するときの気付きにつなげることを目的としています。 菓子をテイスティングしながら、甘味、酸味、苦味、塩味などの味から菓子の味ができていることや、菓子の部位により味が違うことなど、気付きを重点に指導を受けます。 期間 6/2～6/30 対象 市内全小学校(12校) 3年生 699名 内容 栄養教諭等とプロの菓子職人による味覚を探る体験授業 【うま味の授業(5年生)】…H28拡大事業(初年度 全校実施) 家庭科のある5年生を対象に、調理学習枠の一つに出向き、日本人として和食への理解を深め、「うま味」を活用した食文化を伝えることを目的に出前講座を行います。味噌汁をつくる授業と連携し、和食のお話や出汁(こんぶ、かつおぶし、煮干、あわせ出汁)の違いなどを学び、一汁三菜を基本とする日本人の食事スタイルは栄養バランスがよい事も伝え、家庭での食生活につなげます。 期間 9/26～11/17 対象 市内全小学校(12校) 5年生 696名 内容 プロの和食料理人から和食の良さや出汁の違い、特徴を学び、児童が出汁の飲み比べ体験を行います。

食育月間以外の取組実績 (食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	あわら市(健康長寿課)
取組の名称	「おばあちゃんの味の日」事業
取組内容	あわら市では、平成22年度から「おばあちゃんの味」である伝承料理を若い世代へと普及させていくことを目的に学校給食の献立に取り入れるなどの取り組みを行っています。 ・広報やホームページなどでの普及 ・給食での普及…市内の小中学校、こども園で実施 ・試食会の開催…子育て支援センター(毎月、センター利用親子20～30名/回参加) ・坂井地区医師会の講演会での啓発コーナーの設置(一般市民約100名参加)    ・食育スタジオにて料理教室の開催 それぞれ対象やテーマを設定し、2回実施しました。 ①「和食で親子クッキング」(対象:小学生親子21名) 伝承料理と共に和食について学習しました。 ②「季節の野菜を使った夏休み親子クッキング」(対象:小学生親子24名) 季節の野菜を使用した伝承料理を調理しました。    

食育月間以外の取組実績 (食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	あわら市(健康長寿課)
取組の名称	「あわら 食と健康フェア～たべて、まなぼっさ！～」の開催
取組内容	食に関心を持つとともに、正しい知識を持ち、豊かで健康的な食生活を送るために、食と健康フェアを開催しました。今年度は子育て世代に加え、壮年期、高齢期も加えた幅広い年齢の方を対象に実施しました。家族連れを中心とした496名の方に来場いただくことができました。 ・野菜等地元食材の販売   ・伝承料理の試食や体験   ・展示、体験コーナー(酪農、食育ゲームコーナー等)   ・栄養コーナー(野菜摂取啓発、減塩、朝食摂取啓発、食べきり運動)    ・イベント(ペープサート、食べきりダンス、健康チェックコーナー等)  

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	あわら市(金津小学校)
取組の名称	学校栄養教諭栄養指導の実施 給食残食調べ
取組内容	○学校栄養教諭栄養指導 ☆朝ごはんで「3つのスイッチ」を入れよう 3年生85名を対象に、朝ごはんを食べることの大切さについての栄養教室を実施しました。子ども達は、朝ごはんには、頭(エネルギーになる)、体(体をつくるもとになる)、おなか(体の調子をととのえる)のスイッチを入れる働きがあることを学びました。元気に学習したり運動したりするためにも、毎日朝ごはんをしっかり食べようという思いをもった子もいました。 ☆よりよく体が大きく育つために 4年生81名を対象に、バランスの良い食事をすることの大切さについての栄養教室を実施しました。「子どもの腕の骨の大きさ比べ」や「給食とファストフードの栄養バランス比べ」などを取り入れながら、健康的な体をつくるためにはどうしたらよいかを考えました。子ども達は、「子どもと大人」や「健康な人と健康を害している人」の骨の違い、給食とファストフードの栄養バランスの違いに驚いていました。 ○給食残食調べ 給食委員18名が、担当学年を決め、ごはんやおかずの残食や牛乳の残本の有無を1週間にわたり確認しました。また、日ごろから給食室での後片付けの時にも職員を中心に確認しています。メニューによって、残食量や残食人数の違いが大きいと感じることが多いです。今後は、数値化するなどして、子どもたちの食生活に対する意識向上等につなげられるような取り組みも考えていきたいと思います。

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	あわら市(金津小学校)
取組の名称	給食委員会発表
取組内容	○給食委員会発表 ・給食委員:5年9名, 6年10名 計19名 ・全校児童に対して発表 ☆ねらい ・給食に対する関心を深めます。 ・食事のマナーの一つとして, 給食の後片付け方を確認し, 実践しようとする意識を高めます。 ☆発表の内容 ①給食クイズ(三択クイズ) ・牛乳瓶の正しい片付け方はどれでしょうか? ・おぼんの正しい片付け方はどれでしょうか? ・ワゴン車の正しい押し方はどれでしょうか? ②給食委員会からのお願い ・燃やせるごみと資源ごみ, 生ゴミは分別してください。 ・食器やおぼんの留め具は必ず留めてください。 ・食器やおぼんの間に, 食べ残しやごみが残っていないようにしてください。 ③給食アンケート ・好きな給食メニューは何ですか。 ・給食で出してほしいメニューは何ですか。 ☆成果 ・全校児童の後片付けに対する意識が高まり, 正しい方法で給食の後片付けをする児童や学級が増えました。 ・給食アンケートの出してほしいメニューの項目では, 高学年を中心に, 「自分の好きなメニュー」を答えるよりも, 「今まで給食の中で食べておいしかったメニュー」を答える児童が多かったので, 給食は児童にとって楽しみの一つであると感じました。

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	あわら市(金津中学校)
取組の名称	お昼の放送で給食の献立や食材の紹介、野菜作りと調理の工夫
取組内容	毎日給食の時間に流れるお昼の放送では、報道部の生徒が給食の献立や旬の食材、献立に使われている食材を紹介しています。中には地域の食材を取り上げることもあります。他にも、給食センターから頂く、「給食一口メモ」を利用し、日々の食材の特徴を紹介します。実際に自分が食べていても、その食材の産地を知らず、どんな栄養が含まれていてどのような効果があるかなど知らない生徒もいます。その点では給食を食べると同時に食材に関する知識も得ることができます。 また、特別支援学級の生徒7名が授業で学校の畑で野菜作りを行いました。畑を耕すところからスタートし、種や苗を植え、水やり、収穫までの工程を全て自分たちの力でやり遂げました。収穫した野菜は梅、とうもろこし、大根、枝豆や、夏が旬の野菜のナスやトマトがあります。収穫した後は獲れた野菜を使って調理実習を実施しました。献立は自分たちで考え、野菜がおいしく食べることのできるメニューを考えました。考えを出し合って「野菜ピザ」を作ることになりました。自分たちの手で大切に育てた野菜で作ったピザは一味違ったようでした。

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	あわら市(金津中学校)
取組の名称	啓発ポスターづくり
取組内容	金津中学校は他の小中学校と比べ、残食や牛乳の残本がやや多い傾向にあります。そこで、給食を残さず食べる大切さを、生徒が理解し、すべて食べるよう呼びかけるポスター作りを行いました。例えば、偏った食事を行うことによって引き起こされる体調不良の紹介や、不足しがちな栄養分であるビタミンやたんぱく質の重要性を示すポスターを掲示しました。また、給食委員会に所属している生徒に、すべて食べ切るよう促す掲示物を作成してもらい、各教室に掲示しました。 結果としては、掲示する以前よりも、残食・残本の数が2割程度減少しました。その一方で、掲示を始めた日より、少しずつ残食・残本が増加する傾向にあります。今後の課題としては、これらの取り組みが、一時的なものにならないよう、定期的に残食防止策を編み出し実行していく必要があるということです。具体的には、単にすべて食べ切ることが大事であると伝えるのではなく、給食を食べきり、栄養バランスの取れた食事を行うことがもたらすメリットを、生徒がよく理解できるような取り組みを、養護教諭、家庭科教諭との連携のもと行っていきたいと考えています。

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	あわら市(金津東小学校)
取組の名称	朝ごはんキャンペーンJA出前授業の実施
取組内容	・1年生23名, 2年生17名が、JAの方3名から、おにぎりともそ汁の作り方を教えていただき、調理と試食をしました。調理の前に、食に関する紙芝居を見せてもらいました。みそ汁には白菜と2年生が栽培、収穫したさつまいもを入れました。